

朝来市景況調査書

令和5年度 第3四半期

(調査対象：令和5年10月～12月)

朝来市商工会

令和5年2月

【目次】

1. 景況調査について	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	4
①建設業（有効調査書数：31件）	5
②製造業（有効調査書数：42件）	7
③小売業（有効調査書数：41件）	10
④サービス業（有効調査書数：71件（内、飲食店：14件、宿泊業7件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間 (R5. 10~12 月) における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	316	405	108	124
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	105	96	82	167
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	31	42	39	71

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

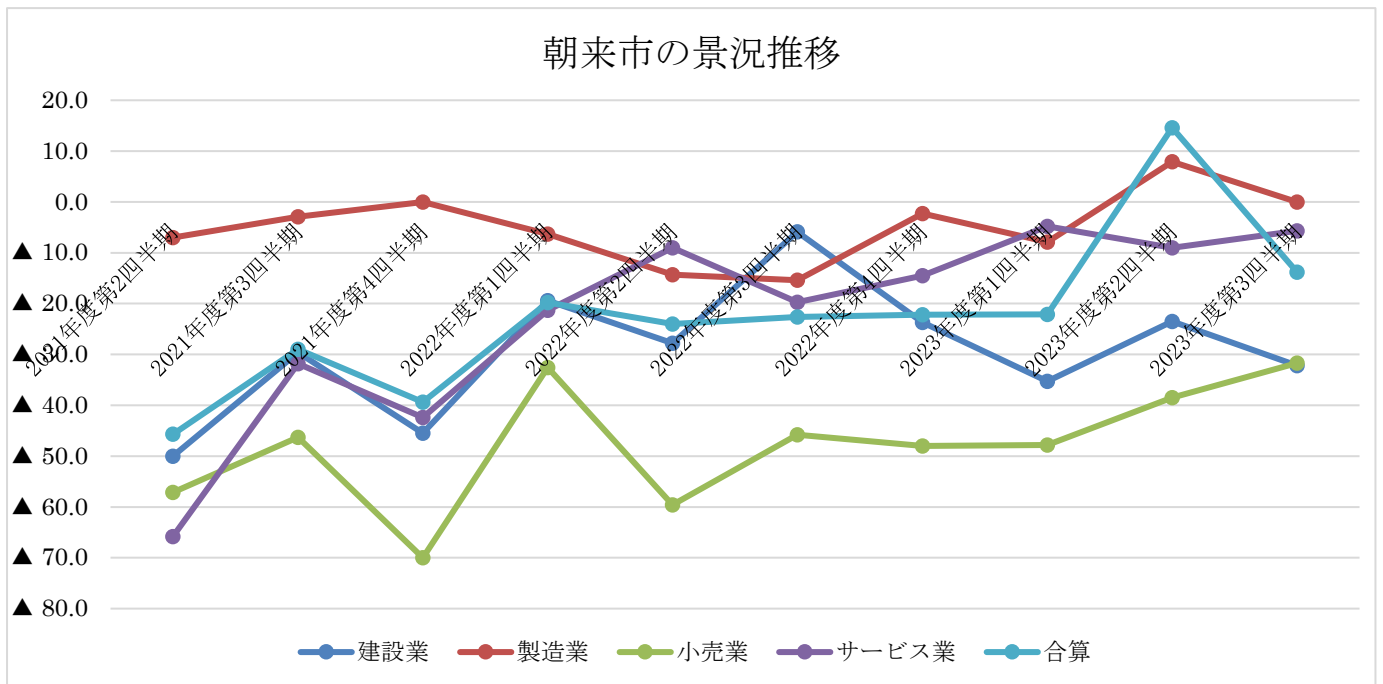
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2022年度 第2四半期 (R4.7~9月)	2022年度 第3四半期 (R4.10~12月)	2022年度 第4四半期 (R5.1~3月)	2023年度 第1四半期 (R5.4~6月)	2023年度 第2四半期 (R5.7~9月)	2023年度 第3四半期 (R5.10~12月)
建設業	▲27.8 (36件)	▲5.8 (34件)	▲23.6 (38件)	▲35.3 (34件)	▲23.5 (34件)	▲32.2 (31件)
製造業	▲14.3 (49件)	▲15.4 (39件)	▲2.3 (44件)	▲7.9 (38件)	7.9 (38件)	2.4 (42件)
小売業	▲59.6 (42件)	▲45.8 (48件)	▲48.0 (50件)	▲47.8 (46件)	▲38.5 (39件)	▲35.9 (39件)
サービス業	▲9.0 (77件)	▲19.7 (71件)	▲14.5 (62件)	▲4.8 (63件)	▲9.0 (67件)	▲5.7 (71件)
合算	▲24.0 (204件)	▲22.6 (192件)	▲22.2 (194件)	▲22.1 (181件)	▲14.6 (178件)	▲14.8 (183件)

(※回答数 192 件、うち業況未回答 9 件)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

プラス値に近い D. I. 値となったのは製造業とサービス業であり、小売業はマイナスとなったものの回復傾向にあります。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：31件）

○昨年(10月～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？（※業況未回答2件）

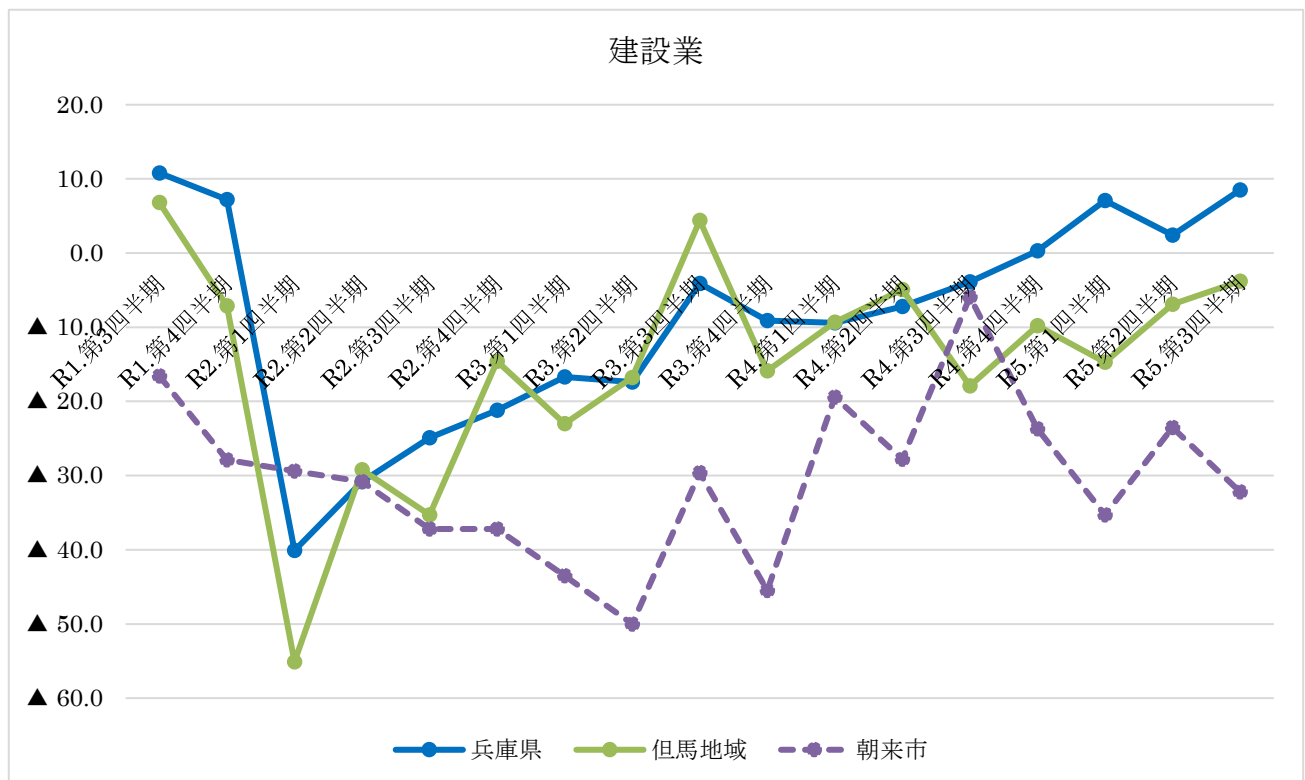
	件数	構成比
好転	2件	6.5%
不変	17件	54.8%
悪化	12件	38.7%

「好転」と回答した事業所が減少し、D.I. 値も若干の減少となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	2.4ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲3.8ポイント
朝来市	▲32.2ポイント

兵庫県全域・但馬地域と比較し、朝来市はマイナス値と差が大きくなっています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域と但馬地域では回復傾向にありますが、朝来市は好調な時期と不調な時期の差が大きくなっています。今回の調査では前々回と同程度の結果となりました。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2022 年度第 4 四半期	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期	2023 年度第 3 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難

「材料仕入単価の上昇」および「従業員の確保」にあたる項目を問題点として挙げている事業者が多く、原油価格・原材料費の上昇、人手不足の深刻化が解決しないといけない問題となっています。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	11 件
現状維持	17 件
事業承継への取り組み	8 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

②製造業（有効調査書数：42件）

○昨年(10月～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

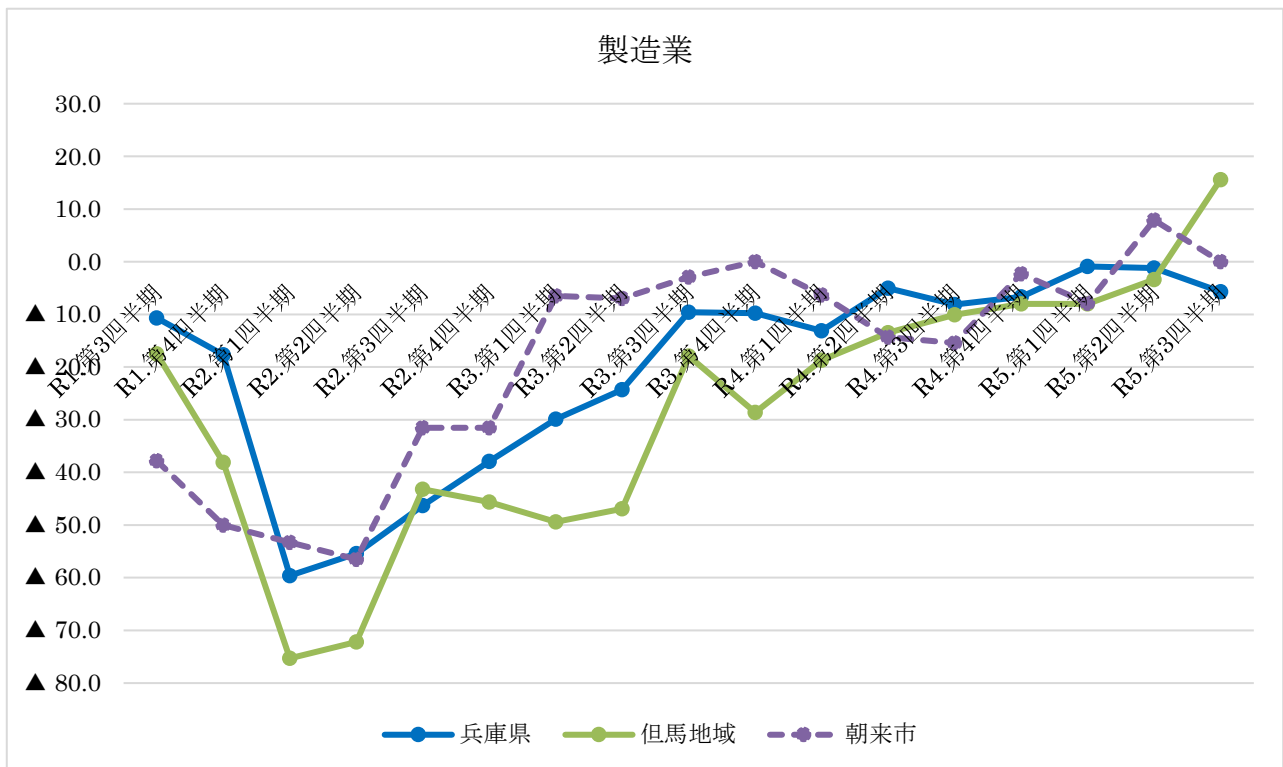
	件数	構成比
好転	14	33.3%
不変	15	35.7%
悪化	13	31.0%

「好転」と回答した企業が減少し D.I. 値も前回調査より下がりました。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲5.7ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	15.6ポイント
朝来市	2.4ポイント

但馬地域の D.I. 値が最も高く、続いて朝来市、兵庫県全域の順となっています。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

朝来市の D.I. 値は前回調査より減少しましたが、兵庫県全域より高い数値を示しています。但馬地域が 2022 年 1 月～3 月の調査以降、順調に回復しており、コロナ禍以降で初めてプラス値を計上いたしました。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2022 年度第 4 四半期	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期	2023 年度第 3 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加
3 位	従業員の確保難	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難

建設業と似た傾向を示しており「材料等仕入単価の上昇」「従業員の確保難」と回答した企業が多くなっています。また上位に「人件費以外の経費の増加」が上がっており、原材料以外の負担も増えていると予想されます。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	20 件
現状維持	16 件
事業承継への取り組み	10 件
廃業を検討	3 件

※複数回答あり

・廃業を検討（3 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	3 件

○製造業種ごとの D. I. 値について

※複数回答を頂けた業種を 3 件掲載します。

・ 金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	5 件	50.0%
不変	3 件	30.0%
悪化	2 件	20.0%
D. I. 値	—	30.0 ポイント

・ 食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	5 件	45.5%
不変	5 件	45.5%
悪化	1 件	11.0%
D. I. 値	—	36.5 ポイント

・ 繊維製品製造業（縫製、紙器、印刷業など）

	件数	構成比
好転	1 件	20.0%
不変	1 件	20.0%
悪化	3 件	60.0%
D. I. 値	—	▲40.0 ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種の D. I. 値を算出いたしました。金属製品に関する製造業はプラスとなり、食料品・飲料等の製造は減少したものの前回に引き続きプラス値を維持しています。繊維製品の製造は回答数が減少した影響もありますが、前回とは変わり悪化の傾向となりました。

③小売業（有効調査書数：39件）

○昨年(10月～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(2件未回答)

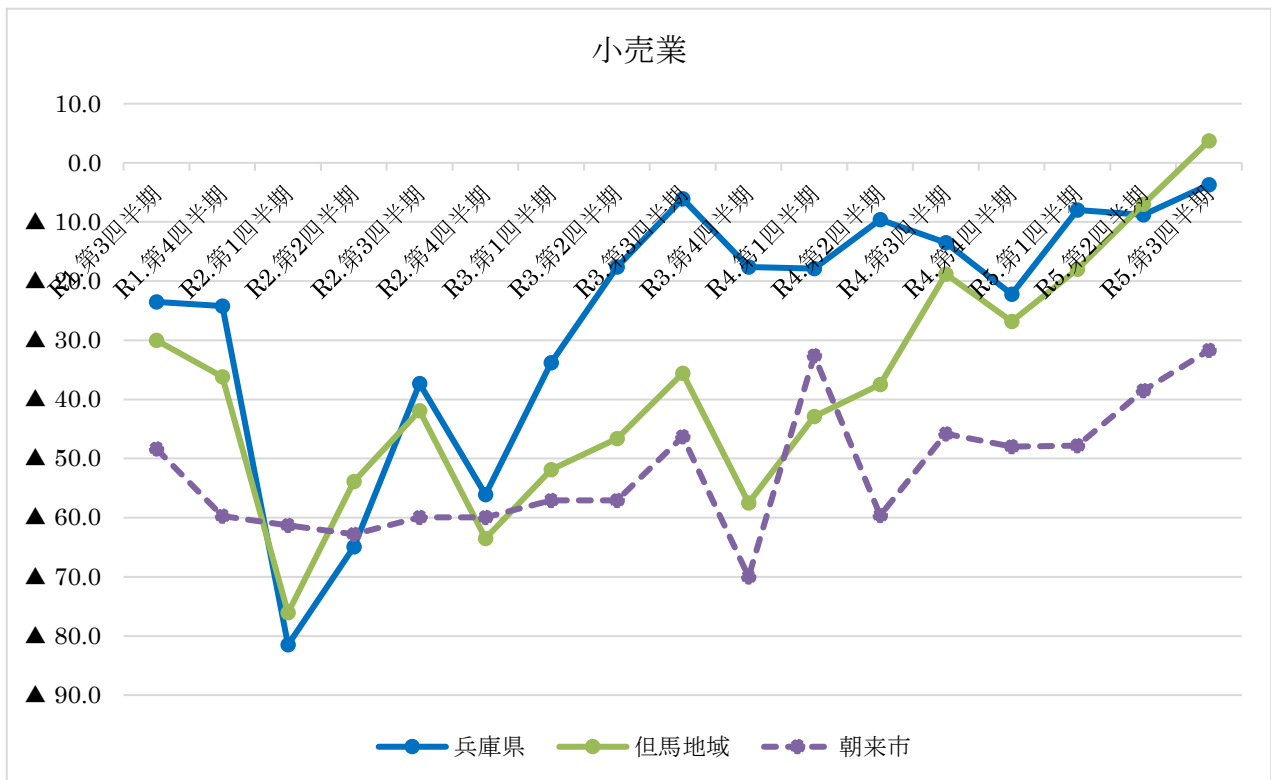
	件数	構成比
好転	1件	2.6%
不変	23件	59.0%
悪化	15件	38.4%

D. I. 値はマイナスが続いておりますが、前々回・前回の調査を上回っています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲3.7ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	3.7ポイント
朝来市	▲35.9ポイント

兵庫県全域、朝来市内ではマイナスを示していますが、朝来市の減少が大きくなっています。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

但馬地域はD. I. 値が順調に回復しており、今回調査で初めてプラス値を示しました。朝来市地域は兵庫県全域・但馬地域と差が開いておりますが、令和4年度第4四半期(2023年1月～3月)以降、D. I. 値は連続して回復しています。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2022 年度第 4 四半期	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期	2023 年度第 3 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応
3 位	需要の停滞	需要の停滞	人件費以外の経費の増加	需要の停滞

引き続き「材料仕入単価の上昇」「利用者ニーズの変化への対応」が上位に入っており、また「需要の停滞」も3位に上がっています。原材料費の高騰で仕入れだけでなく、消費者の買い物の傾向も変化しており、対応に苦慮する事業者が多くなっています。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業5年未満	0件
売上・事業拡大	14件
現状維持	22件
事業承継への取り組み	10件
廃業を検討	2件

※複数回答あり

・廃業を検討（2件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0件
事業譲渡なども、全く考えていない	2件

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・織物・衣服・化粧品・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	0件	0.0%
不変	3件	27.3%
悪化	8件	72.7%
D.I.値	—	▲72.7ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	0件	0.0%
不変	5件	55.6%
悪化	4件	44.4%
D.I.値	—	▲44.4ポイント

「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」「飲食料品にかかる小売業、卸売業」ともに「好転」と回答した企業が無く、D.I.値も厳しい結果となりました。小売業全体のD.I.値は改善したものの、「不変」の回答が多い傾向にありました。

また少数の回答ですが、他小売業は以下の通りとなっています。

- ・写真機・時計・眼鏡小売業…「不変」1件「悪化」2件
- ・家具・建具・畳小売業…「不変」2件、「悪化」1件

④サービス業（有効調査書数：71件）

○昨年（10～12月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（4件未回答）

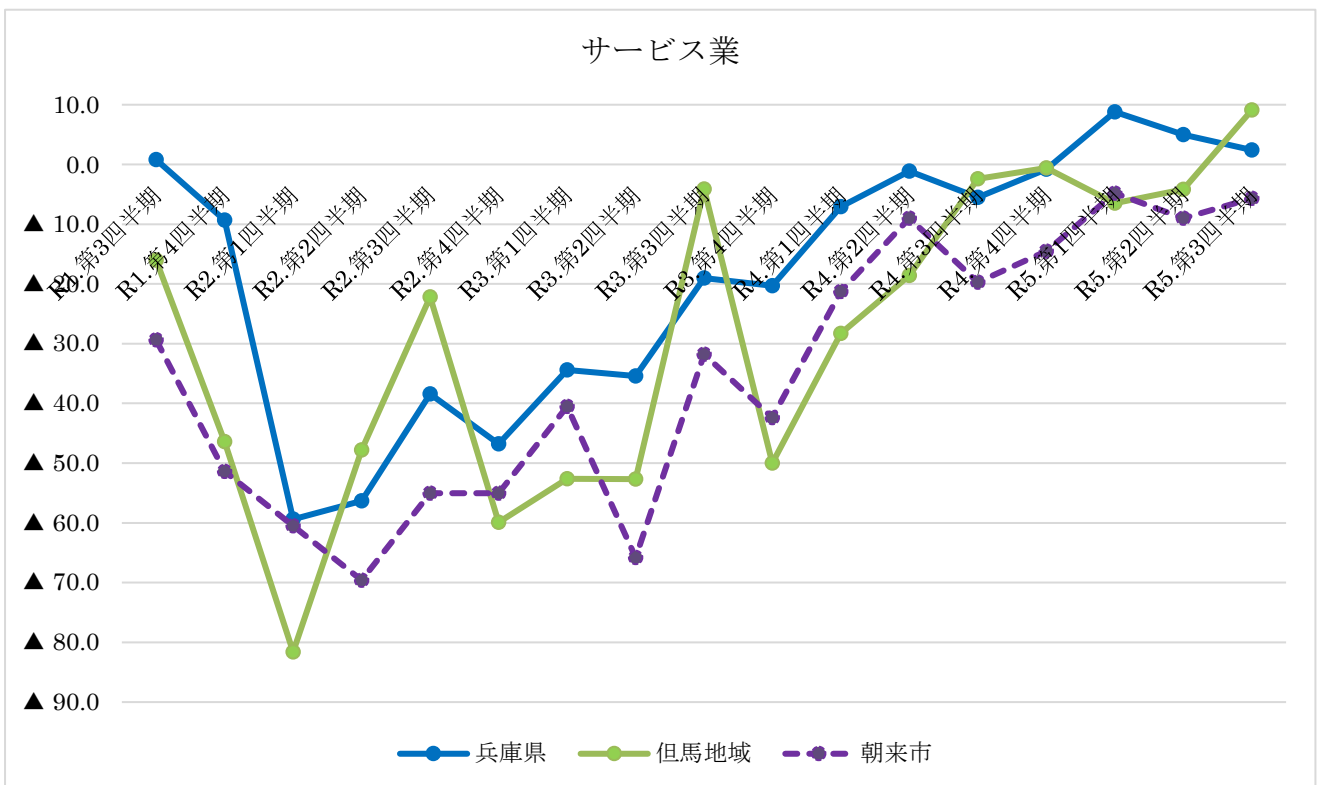
	件数	構成比
好転	17	23.9%
不変	33	46.5%
悪化	21	29.6%

「好転」と回答した事業所が増え、D. I. 値が前回調査より上昇しています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	2.4ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	9.1ポイント
朝来市	▲5.7ポイント

兵庫県全域のD. I. 値はプラス値を示しており、朝来市はマイナスとなったもののゼロに近い数値であり、地域間の差が少なくなっています。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期（9～12月）、R3年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域は前年度同時期を上回る傾向が続いており、但馬地域でも回復傾向にあります。朝来市では微増となりつつ、朝来市と兵庫県全域の差も低くなっています。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2022 年度第 4 四半期	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期	2023 年度第 3 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	人件費以外の経費の増加
3 位	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	従業員の確保難

他業種同様「材料仕入単価の上昇」が連続で最も多い回答となっています。また前回調査同様に「従業員の確保難」の回答が増えてきており、これはコロナ禍が終わり業況が回復する一方、従業員が不足し需要になかなか追いつけない状況と考えられます。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	2 件
売上・事業拡大	28 件
現状維持	33 件
事業承継への取り組み	16 件
廃業を検討	6 件

※複数回答あり

・廃業を検討（6 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2 件
事業譲渡なども、全く考えていない	4 件

○サービス業種ごとのD.I.値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・飲食店

	件数	構成比
好転	4件	30.8%
不変	5件	38.5%
悪化	4件	30.8%
D.I.値	—	0.0ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	4件	57.1%
不変	3件	42.9%
悪化	0件	—
D.I.値	—	57.1ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	2件	22.2%
不変	2件	22.2%
悪化	5件	55.6%
D.I.値	—	▲33.3ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	3件	30.0%
不変	5件	50.0%
悪化	2件	20.0%
D.I.値	—	10.0ポイント

「飲食店」「宿泊業」「洗濯・理容・美容・浴場業」はD.I.値が減少しましたが、宿泊業はプラス値を維持しており、好調な傾向にあります。「自動車整備サービス、運送業」のD.I.値は増加し、人流の抑制が無くなった影響が出た結果となりました。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	1	0	1
30代	1	2	0	3	6
40代	5	7	6	7	25
50代	13	10	11	25	59
60代	9	14	6	23	52
70代以上	5	8	19	15	47

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	8	5	6	13	32
補助金・助成金の相談	22	22	21	44	109
各種認定について	7	2	6	6	21
IT化について	4	3	6	17	30
税務・労務について	4	4	9	16	33
特に相談等無し	8	11	7	12	38

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	0	0	1	1	2
売上・事業拡大	11	20	14	28	73
現状維持	17	16	21	33	87
事業承継への取り組み	8	10	10	16	44
廃業検討	1	3	2	6	12

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	0	0	2	2
事業譲渡なども、全く考えていない	1	3	2	4	10

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	2	9	10	20	41
1人～5人	17	10	21	28	76
6人～10人	6	1	7	8	22
11人～20人	4	4	3	6	17
21人以上	2	16	0	4	22
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	19	13	5	19	56
適正人数である	10	15	20	25	70
雇い入れが過剰である	0	4	1	3	8
雇用していない・しない	2	8	11	19	40

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	15	10	12	20	57
1人～5人	15	19	19	37	90
6人～10人	0	2	1	7	10
11人～20人	0	5	3	4	12
21人以上	0	3	0	1	4
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	9	6	6	14	35
適正人数である	10	23	17	37	87
雇い入れが過剰である	1	0	1	1	3
雇用していない・しない	9	9	11	17	46

○令和5年10～12月と前年同期(令和4年10～12月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	2	13	2	17	34
	同じ	17	14	25	32	88
	悪化	12	13	14	21	60
売上	増加	5	0	0	1	6
	同じ	17	4	0	16	37
	減少	10	2	3	5	20
販売価格	増加	5	0	0	0	5
	同じ	20	1	3	0	24
	減少	7	5	0	5	17
仕入価格	下落	0	0	1	1	2
	同じ	3	6	2	19	30
	高騰	29	35	38	50	152
資金繰り	好転	0	4	2	4	10
	同じ	25	1	26	48	100
	悪化	7	5	12	18	42

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	0	0	11	1	12
新規参入業者の増加	2	1	0	7	10
利用者ニーズの変化への対応	3	9	15	13	40
店舗施設の老朽化	1	10	11	20	42
人件費の増加	7	12	9	15	43
人件費以外の経費の増加	9	17	12	23	61
利用料金の低下・上昇難	0	1	2	11	14
材料等仕入単価の上昇	26	27	27	34	114
金利負担の増加	3	0	0	2	5
事業資金の借入難	2	2	3	5	12
従業員の確保難	17	15	4	21	57
熟練技術者の確保難	16	9	2	13	40
需要の停滞	6	13	12	14	45
その他	1	2	0	4	7

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org